

本校の進路支援について

進路支援部長 森 一也

6月に入っても寒暖差が大きく、体調を整えるのが大変な日々が続いております。現在高等部では、3年生を中心に「生活体験実習」が行われています。生活体験実習は高等部を卒業してからの生活に繋げるため、様々な福祉事業所等で日中活動を体験する学習で、進路決定に向けての大切な取り組みとなります。

さて、小・中学部の保護者の皆さんにとっては、「高等部卒業後の進路はまだ先のこと」と思われている方々も多いと思いますので、各学部の教育で意識したい内容を紹介させていただきます。

まず小学部では、家庭という活動の場から多くの友達や先生のいる学校での活動に移行します。児童にとっては、家族以外の人たちと活動する機会が増え少しずつ社会性が培われます。様々な活動を経験していく過程で「学校でもできた」「先生ともできた」など、自分の力が発揮できる場面を広げ、興味関心の幅を広げて行くことが大切と考えています。

次に中学部では、小学部で培った力を土台に「得意な活動を見つけよう」「好きな活動を深めてみよう」と一歩踏み込んで教育活動を展開していきます。

「もっと〇〇を勉強したいからこの高校に行きたい」「〇〇な生活を送るために△△を身につけよう」等、より具体的に進路へのイメージができるといいと思います。

そして高等部では、「自分の得意なことを生かして」「こんな生活を送るために」等、卒業後の生活をイメージしながら学習等を進め、進路決定につなげていきます。やはり大切なのは、子どもたちが「〇〇をしたい」「△△が得意」「〇〇するのが夢」という願いをもつことだと考えています。「子どもを中心」に保護者・学校・多くの支援者がつながりあって児童生徒の生活や学習等の交流ができると、おのずと進む道が明確になってくると考えています。

最後に、小・中・高等部の時から様々な福祉サービス（居宅介護事業所・放課後等デイサービス・短期入所施設（ショートステイ）等）を活用していくことで、今以上に活動の場を広げることができたり、新たな楽しみを見つけるきっかけとなったり、放課後や休日の充実につながっていくことと思います。

現在の子どものたちの生活を充実させていくことが、学校教育終了後の進路にもつながっていくと思います。これからも保護者の皆さんをはじめ多くの方々とつながり合い、子どもたちの自己実現に向けて一緒に取り組んでいきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。